



# 佐高

スーパー グローバル ハイスクール

# SGH通信 2019

No. 32 (2019年11月29日発行)

佐高 SGH ファイル

## 高1CTP 日本語ディベート 第4回、第5回

高1CTP日本語ディベート第4回、第5回が、11月21日(木)の6、7限に行われました。今回は日本語ディベートの最終回となります。前回のディベートから少し期間がありました。生徒たちはしっかりと自分の意見を述べていました。今回も振り返りを紹介したいと思います。

### 第4回 論題「数学のテストで計算機を使うことを許可すべきだ」

私は、数学のテストで計算機を使うことを許可すべきだという考えに賛成です。理由は2つあります。まず一つ目は、高校や大学では基本的な計算力ではなく、高度な思考力をテストで計るべきだと考えるからです。基本的なことも大切ですが、それは小学校、中学校ですでにマスターしているはずのもので、高等教育で行う必要はないと思います。二つ目は足し算や引き算などでミスしてしまっただけで考え方や解き方は正しいのに解答が間違っているということをやめるためです。計算機を使えばそのような小さなミスを少なくすることができます。以上の点から私は、計算機の使用を許可すべきだと考えます。

1年1組 根本 絆

私は、数学のテストで計算機を使うことを許可すべきだと思います。理由は2つあります。一つ目は、計算機を使っても、数学力の向上には影響がないからです。数学的思考がつかなければ、式を立てることができないので、計算機があっても計算できません。二つ目は、社会人になった時に、計算機を使うことができると便利だからです。手書きで計算するよりも、計算機を使った方が速くて正確です。したがって、学生のうちから計算機を使うことに慣れておくべきです。

1年2組 田崎 和寛

私は数学のテストで計算機を使うことを許可すべきではないと考える。理由はおもに2つある。一つ目は、計算機で出した値が必ずしも合っているとは言えないからだ。私たちが1学期のCTPで計算機についてクリティカルシンキングした時、計算機と手計算とで答えが異なる場合があると知り、計算機を完全に信用しきるのはよくないと思った。二つ目は、あらゆる面において平等性を欠くからだ。例えば、偏差値がかなり異なる二人が同じ問題を解いた際、本来なら圧倒的に頭の良い生徒が1つボタンと押し間違えただけで成績が逆転してしまう場合もある。このような状況があるとしたら、これは完全に“不平等”だろう。正確な学力が測れなくなってしまう。よって、計算機は許可すべきではないと考える。

1年3組 五十嵐 羽音

私は、数学のテストで計算機を使うことを許可すべきではないと思います。理由は、計算機を使ってしまうと、計算中にどこで間違えたのかが後でわからなくなってしまい、復習ができなくなってしまうからです。復習はとても大切なことなので、それができなくなってしまうイコール、学力が低下してしまうことだと思います。結果、計算機を使うと学力の低下につながると考えられます。また、計算機の制度には、限界があるため計算機を使ったことによる間違いも起こると思います。自分の力不足ではなく、計算機のミスによって、試験や入試などで、合格できる所をできなくなってしまうことは、あってはいけないことだと思います。

1年4組 柳田 貴央

## 第5回 「日本の高校生は英語以外の外国語も学ぶべきだ」

私は日本の高校生は英語以外の外国語も学ぶべきだ考える。理由は2つある。まず1つ目は、英語以外を学ぶことでよりグローバルな人材を育てることができるからだ。今日、訪日外国人は英語圏の人だけでなくアジア、ヨーロッパの人々もいる。その国の言葉を学び、話せるようになると交流が深まり、よりグローバルな人材になると思う。2つ目は、国際理解にもつながるからだ。言語を学ぶことはその国を知る上で最も重要なことだ。以上のことから私は日本の高校生は英語以外の言語を学ぶべきであると考えてる。

1年4組 長竹 真輝

私は「日本の高校生は英語以外の外国語も学ぶべきだ」という題に賛成します。理由は2つあります。1つ目は、これからグローバル化が進む日本で、貿易をしていく国は英語を使う国だけではないからです。例えば、日本と深い関係を持ち、たくさん輸入している中国は中国語、石油などを輸入していて、たくさんお金を持っているサウジアラビアはアラビア語など、たくさんの言語を使います。そんな国々ともっと仲良く、友好な関係を築くためにはその国の言語を話せる人材を増やすことが必要不可欠だと考えます。2つ目は、高校生から英語以外の外国語を学ぶことで、大学でより深く英語以外の外国語も学べるからです。日常的な会話だけでなく、政治や経済にも使えてこそ学ぶ意味があると考えてるので、高校生から学ぶことは必要だと考えます。以上のような理由から、「日本の高校生は英語以外の外国語も学ぶべきだ」と強く信じます。

1年2組 青木 華瑚

英語以外の外国語は学ぶべきではないと思う。理由は2つある。第1に、教員の数が圧倒的に足りないと思う。まず、日本で英語以外の言語をよく話せる人が少なく、また好む人も少ない。これから教員を育てるといっても時間がかかるし、何より教員一人あたりの負担が大分多くなる。これは過労死などの問題を引き起こす重大な要因だと考える。第2に高校生に時間が足りないからだ。部活動をしている人も多くいるわけだから、他の教科にしかも英語以外の言語も取り組むことになると大きな負担になると感じられる。時間を取られてしまうことは確実であるから、他の勉強量は減少してしまう。全国的な学力低下は避けられないと考える。よって、英語以外の外国語は学ぶべきではないと考える。

1年1組 尾花 知典

私は日本の高校生は英語以外の外国語も学ぶべきだという意見に反対です。理由は2つあります。1つ目は、英語以外の言語の勉強をする時間を取れるほど、高校生には時間がないからです。学校生活プラス部活動、塾、習い事、次の日の予習などやる事がたくさんあります。その状態にさらにプラス1教科になると、今、自分の時間が少ししかないのに、その時間さえも無くなってしまいます。2つ目は、教えられる教師が少ないということです。英語以外の言語を教えることができる教師はとても少ないです。よって学習環境が整うまでは無理なので、それなら今学んでいる英語を使える人を増やす方が良いと思うからです。現在、英語は必須科目となっていますが、学んでいる人の大多数が外国の方と会話ができるかと聞かれたら無理だと答えると思います。英語が出来ていないのに新しい言語を学んでも同じことの繰り返し、あるいは悪化すると思います。よって、私は日本の高校生は英語以外の外国語を学ぶべきだという意見に強く反対します。

1年3組 廣瀬 莉羽